

知っておきたい! 防災ガイド

市外局番096を省略しています。

問 危機管理課 ☎328-2490

いざというときに慌てずに対応ができるよう、日ごろからしっかりと備えましょう。また、災害の際に家族がどのような行動をとり、どこへ避難するか話し合っておきましょう。

防災ガイド1

準備しておきたい非常持出品は?

大規模災害が発生した場合、水道施設などが使用できなくなったり、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐにできない可能性もあります。災害発生後の数日間は自給自足できるよう準備しておきましょう。

最初に持ち出す 非常持出品

家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所にひとまとめに保管しましょう。

懐中電灯

できれば1人ひとつ
※予備の電池と電球も忘れずに



携帯ラジオ

軽くてAM・FM両方聞けるもの
※予備の電池は多めに



貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑
マイナンバーカードなど



スマートフォン

予備の充電器(モバイルバッテリー)

その他

マスク、消毒液、体温計、傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など
※常備薬は忘れずに



カンパン、缶詰、ペットボトルの水など
※火を通さなくても食べられるもの
※乳幼児がいる場合は粉ミルク

ヘルメット、防災ずきん、上着・下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター(マッチ)、缶切、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、歯ブラシ、生理用品、紙おむつ、哺乳瓶など

復旧までを支える 非常備蓄品

最低3日分(できれば1週間分)を準備しておきましょう。

食品

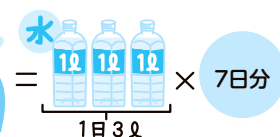
缶詰、レトルト食品、ドライフーズ、栄養補助食品、調味料など



水

飲料水…大人1人1日あたり3リットル

※できれば7日分



燃料その他

卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベ、毛布、寝袋、洗面用具、ラップ、使い捨てカイロ、工具、マスク、トイレットペーパー、新聞紙、簡易トイレ、めがね(予備)、バイク・自転車、ドライシャンプー

防災ガイド2

避難するときの注意点

災害が発生し、その場にとどまることが危険な状態になった場合は、落ち着いてすばやく避難する必要があります。安全が確保できる場所であれば親戚・知人宅に避難することも考えられます。その際には、乳幼児や高齢者、障がいのある方などの要配慮者の保護を念頭に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

避難に関する基本的な考え方

避難は 自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動をとらなければなりません。

命を守る 最低限の 行動を

安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難場所への移動(①水平避難)だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

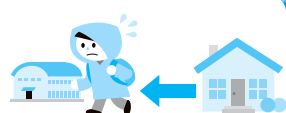
例えば…

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる
- 堤防の決壊で家屋消失、浸水の危険がある地域に住んでいる
- 乳幼児や高齢者などと一緒に住んでいる

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

(①水平避難)

とにかく
早めの避難を!



(②垂直避難)

屋外への移動は危険です。
浸水による建物倒壊の危険が無い場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。



防災ガイド3

5段階の警戒レベルで避難情報をお伝えします

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報等を、5段階でお知らせします。

〈避難情報等〉

～命の危険 直ちに安全確保！～

〈住民がとるべき行動〉

5

災害発生
又は切迫



きんきゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保

命の危険
直ちに安全確保！

～《警戒レベル4までに必ず避難！》～

4

災害の
おそれ高い



ひなんしじ
避難指示

危険な場所から
全員避難

～危険な場所から高齢者等は避難！～

3

災害の
おそれあり



こうれいしゃとうひなん
高齢者等避難

避難に時間を要する人は
早めに避難、準備など

2

気象状況
悪化



大雨・氾濫・土砂災害・高潮注意報(気象庁)

避難行動を確認

1

今後気象状況
悪化のおそれ



早期注意情報(気象庁)

災害への心構えを高める

安全に避難するために

事前に準備を

普段から避難場所までの
安全な経路などの確認を。

持ち物は最小限に

荷物は背負い、両手が使
えるように。

声を掛け合って

避難は2人以上で。隣近所
を誘って集団で避難を。

動きやすく安全な服装で

ヘルメットで頭部を保護しましょう。靴
はひもでしっかりしめられる運動靴を。

車は使わない

車は数10cmの浸水で浮いてし
まいます。他の避難者や緊急
車両の妨げにもなり危険です。

気象情報に注意を

被害の状況や今後の気象
状況を確認しましょう。

マンホールや側溝に注意

急激な大雨が下水管に流れ込むと、管内の圧力が上昇し、マ
ンホールのふたが開いてしまう場合があります。浸水が進む
なか、マンホールや側溝にはまると大変危険です。

防災ガイド4

防災情報の入手方法をご存知ですか？

市民の皆さんへの主な広報手段

熊本市

市ホームページ

防災情報ポータル

市公式LINE・X

くまもとアプリ

緊急告知ラジオ

緊急速報メール

防災行政無線

消防機関

熊本市災害情報メール(事前登録制)

テレビ・ラジオ

広報車

市民の
皆さん

今すぐ登録を！

熊本市災害情報メール

(注意報・警報や避難情報をメールでお知らせ)

login@kumamoto.mailio.jp に空メールを送信



その他防災情報はこちらから



●命を守るQR

携帯電話・スマートフォンで
避難情報やハザードマップを
確認できます。

●災害時協力企業井戸情報

「災害時における井戸水の提供に関する協定」を締結してい
る井戸の情報が閲覧できます。

<https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/kiji00315906/index.html>